

ふるさととくち

四年ぶりに「森フェス」が帰ってきたポン！



目次

- 里山だより・とくち6校つうしん…2P
- とくちで輝く・フォトギャラリー…3P
- 行政だより…4P
- 行事カレンダー・図書館だより…5P
- 総合支所情報局
- とくち通い雑感・スマホでなぞ解き…6P



(2023年4月末現在)





表紙の写真から



第8回 森フェス ～ポン太のマジカル森アワー～

5月4日(みどりの日)、国立山口徳地青少年自然の家で、4年ぶりの『森フェス』が開催されました。県内外から54団体224名の出展者が集結。来場者は過去最多1,651名、うち約8割は親子連れ！会場には森歩きや木登り、ワークショップ、森のカフェなど、スペシャルな森林セラピー体験がいっぱい。徳地の魅力と森の癒しを楽しむ人々の、笑顔に湧いた一日となりました。

(投稿：森林セラピー山口)

みんなで楽しくパン作り

5月3日(土)八坂地区むらづくり協議会主催でやまぐちサッカー交流広場の事務所ロビーにて、パン作り体験教室が開催されました。

講師の YUZUKI 先生から袋を使って材料を揉む手軽な作り方を教わり、子供と大人達が一緒になってパン作りを楽しみました。

パンが焼き上がるとお茶会が始まり、子供達は熱々のチョコスティックパンを頬張って大満足。

楽しい休日を過ごせました。

(取材：徳地づくり達人塾)



子どもの日の 月輪寺薬師縁日

子どもの日の恒例として親しまれている月輪寺薬師堂の縁日が、5月5日、4年ぶりに開催されました。心配されたお天気も何とかもち、久しぶりの縁日を心待ちにしていた皆さんが、朝早くから訪れました。

午後からは、山伏を先頭に虚無僧や重源上人の御輿などが続く行列や、仏様との握手会などの楽しい行事も行われ、多くの参拝客でにぎわいました。

(取材：丸本特派員)

とくち6校つよしん

徳地中学校 中央小学校 島地小学校 八坂小学校 串小学校 柚野木小学校



令和5年度がスタートして2ヶ月。串小学校は2名の6年生が毎日元気に登校しています。

この数年、色々制限され出来なくなっていた行事が今年度から復活という事で、地域の方や保護者が参加できる「串っ子タイム」という活動を毎月第4水曜日の14時から行います。皆さんぜひ串小学校へお越しください！

串小学校



今年度、柚野木小学校の児童は6年生2人だけとなりました。

保護者、先生方、地域の方たちと協力しながら、小学校生活最後の年を盛り上げていきたいと思ひます。6年生の2人も、たくさんの思い出を作っていきたいと話しています。

柚野木小学校



とちぎで輝く

地域のシンボルを
めざす新たな一歩

ロハス島地温泉

その中心となつているのが、2月から始まった夜営業です。これまで食堂や売店は、夕方まで閉店していましたが、地域の人々の協力と、夜の温泉利用者へのニーズを受けて、新たに夜の時間帯も営業が始まりました。これにより、温泉と食事を一緒に楽しめるスポットとして、より一層の利

■新たな取り組み

ロハス島地温泉は、地域のコミュニティースポットとして多くの人々に親しまれていきます。新たな取り組みは、温泉だけでなく、併設されている食堂と売店にも広がっています。



便性を提供することができるようになってきているとのことです。

■地域との共生

加えて、食堂でも大きな変化が予定されています。6月末から、メニューが一新され、地域の食材を活用したメニューが提供される予定です。ロハスのオリジナルメニューを提供することで、地域の人々に親しまれる食堂を目指すとのことです。また、地元の食材を使うことで、地域の事業者を支援、地域全体の活性化に寄与することを目指しているそうです。

売店でも、地域色を生かした商品を取り扱っています。朝市の商品を仕入れ、加工して食堂で提供することで、食べたものを帰りに購入することも可能です。



■ロハスが目指すもの

これらの取り組みは、ロハス島地温泉が地域の人々に応援してもらえる施設を目指していることと関係しています。"地域の人たちに還元する"という考えの下、ミニスーパーや食堂として利用されてきた施設を、地域のシンボルへと昇華させる試みだそうです。

夜営業開始以来、温泉や食堂利用者が増えており、この取り組みが着実に実を結んでいます。利用者数が増えているだけではなく、地域の人々との絆が深まっている証だと私は思います。

ロハス島地温泉が目指しているのは、コミュニティースポットとしてだけでなく、地域とともに成長し、地域に還元する施設としての役割を果たすことです。

地域全体を盛り上げる施設として、地域の人々との絆を深め、地域全体を元気にする。そんなロハス島地温泉の挑戦から目が離せません。

(取材：河上特派員)

フォトギャラリー



癒しの一時



訪ねてみたい秘境の棚田



新緑の道をお散歩

行政だより

日暮ヶ岳登山道について

市では森林の整備を目的とした「やまぐち森林づくり県民税」を活用しています。このうち「地域が育む豊かな森林づくり推進事業」において、これまで森林の景観改善による観光振興や利用者の安全確保を目的とした登山道の修景伐採や路面補修を行っています。令和4年度は国立山口徳地青少年自然の家から日暮ヶ岳山頂への登山道を整備しました。



問合せ先 農林課 ☎52-1116

徳地地域母子保健推進員のご紹介

山口市から委嘱を受け、保護者のみなさんと乳幼児の健康を守るために市保健師とのパイプ役として活動しています。妊娠中や赤ちゃんのお誕生後等に家庭訪問しますので、妊娠や育児に関することなどを、お気軽にご相談ください。また、「あいあいサークル」の開催や育児相談及び1歳6か月児・3歳児健康診査のお手伝いも行っていますので、よろしくお願ひします。

氏名	担当地区
武石 美夜子	才谷、関、才契、上市、市、片山、御所野、深谷
藤本 米子	伏野上・下、中村、須路上・下、堀、旭
中島 眞壽美	本町、西川、上佐、上佐団地、上・下庄方
高木 美努利	漆尾、二の宮、開作、志手原、沖の原東・西
坂本 博美	新田上・下、古森、船津上・中・下、伊賀地団地、西大津、徳行、土井、樋の口、麻生、野尻
木村 洋子	下八坂上・中・下、三谷川、三谷川団地
藤井 裕美	野々井、国木、巢垣、神原、奈良原、木地屋、奥谷、羽高、梶畑
河村 和江	上八坂、中央下
山本 初江	川口上・下、中村上・中・下、夏焼上・中・下、戸祢
原 恵美子	下庄、上河内、中央上・中、御馬、屋敷、間方、船路東
吉賀 克子	上村、西畑、蔵場、西村、大町、島地団地、浄賢
屬 純子	大久保、中畑、下畑、大野、浅木
礒村 正子	上市、中市、下市、石曾根、中村
岸田 よしえ	上・中・下藤木、立石、小河内、矢井、下津屋
山下 いつ子	串地区全域

問合せ先 徳地保健センター
☎52-1114 FAX52-0444

重源の郷体験交流公園の リニューアル整備

施設の老朽化への対応及びリニューアルを契機とした誘客効果の徳地地域全体への波及を目的に整備を行います。



茅葺古民家（イメージ）

〔整備概要〕

リニューアルの重点ポイント（整備の方向性）

自然豊かな景観、究極の田舎、昭和の原風景の佇まいに加え、**四季折々の花（花木）があふれる心地よい空間**の整備を行う。

施設コンセプト

「花づくし・旨いものづくし・心づくし」

観光の三大要素「花（自然）」「食」「人（おもてなし）」を強化し、徳地地域の魅力として提供を目指す

●スケジュール（予定）

令和5年4月～ 施設休園（オープンまで）
 “ 7月～ リニューアル工事着手
 令和6年度中 リニューアルオープン

●リニューアル整備内容

茅葺古民家の改修、庄屋（レストラン）の再整備、花木・水生植物池の再生等

問合せ先 山口市観光交流課 ☎083-934-2810

自治会長の皆様へのお知らせ

～自治会の環境美化活動について～

今年度も、活動のための物資（燃やせるごみの袋、ポリ袋、軍手）を、お渡しします。

出雲地区は出雲地域づくり協議会事務局（徳地文化ホール内）、その他の地区は各分館でお受け取りください。

〔徳地地域づくり協議会〕



行事カレンダー

(6月15日～7月14日)

6月	21	認知症家族会 (やすらぎの会) (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	25	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング (問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0095
7月	4	健康相談 (串分館) (問) 徳地保健センター ☎52-1114
	11	憩いステーションとくち (徳地地域交流センター) (問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832
	12	育児相談 栄養・歯科相談併設 (徳地地域交流センター) (問) 徳地保健センター ☎52-1114

子育て支援センター
すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 6月16日(金) 「乳がん検診」体験談
- 20日(火) 誕生会
- 22日(木) 制作(デコパージュ)
- 29日(木) MaMaナビ
- 7月 7日(金) 七夕会

総合支所情報局 総合支所長あいさつ



このたび総合支所長に着任しました末田と申します。

徳地地域は、これまで農業振興や定住促進等の仕事で伺っていたこともあり、とても身近に感じています。

早速たくさんの方とお話をしましたが、皆さんとても気さくな方ばかりで温かく迎えてくださり、大変ありがたく感じています。一方、地域を回りますと、以前よりも更に田畑の荒廃が進み、空き家も多くなっているように感じました。

これまで徳地地域の先人の皆様が繋いでこられた地域振興の足跡をたどり、微力ながら地域の発展に尽くしてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

徳地総合支所長 末田 一志

◆◇図書館だより◇◆ ☎52-0043

【新しく入った資料】

◎文学	赤い月の香り/千早 茜
◎一般書	孤独のレッスン/齋藤 孝, 中条 省平 [ほか]
◎実用書	おとなの浴衣、はじめます/山崎 陽子
◎文庫	マヨナカキッチン収録中!/森崎 緩
◎ティーンズ	医療事務スタッフになるには/笹田 久美子
◎物語・児童書	ビジュアル「生きる技術」図鑑/かざまりんべい, 子供の科学編集部
◎絵本	はじめての梅しごと 梅シロップをつくろう/高野 紀子
◎CD	1st Love / なにわ男子
◎DVD	流浪の月

【企画展示】

◎今月のテーマ	ショートストーリー
◎絵本	おとうさんありがとう
◎一般	節約&お金のはなし
◎児童・ティーンズ	宝もの

【お知らせ】

雑誌の譲渡

7/11(火)～7/16(日)の間、2019年10月～12月までの雑誌を譲渡いたします。
期間内おひとり様15冊までです。
利用カード(お持ちでない方は、本人確認できるもの)を持参の上ご来館ください。

休 図書館 6月/19・22・26
休館日 7月/3・10

+ 休日・夜間診療のご案内(防府市内)

*山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】(受付 8:30～11:30、13:00～16:30)

防府市休日診療所(鞠生町)☎0835-24-4172

【歯科】(受付 8:30～11:30)

防府市休日診療所(鞠生町)☎0835-24-4172

【外科】当番医療機関(診療 9:00～17:00)

6月18日(日)くらしげ整形外科クリニック(田島) ☎25-0076

25日(日)たかきクリニック(台道) ☎33-1050

7月 2日(日)ながみつクリニック(中央町) ☎20-1230

9日(日)防府整形・リカマクリニック(新田) ☎25-1060

【夜間救急病院】(平日、休日にかかわらず)

病院名(場所)	電話番号	6月・7月の開設日						
緑町三祐病院(緑町)☎	22-3145	15	20	25	30	5	10	
三田尻病院(お茶屋町)☎	22-1110	16	21	26	1	6	11	
松本外科病院(天神)☎	22-1409	17	22	27	2	7	12	
防府胃腸病院(駅南町)☎	22-3339	18	23	28	3	8	13	
桑陽病院(車塚町)☎	23-1781	19	24	29	4	9	14	

スマホでなぞ解き

～徳地をとく～

先月の「徳地をとく」はお楽しみいただけましたか？実際に足を運ぶことで、新しい発見があると嬉しいです。

まだ挑戦していない方は先月号のキーワードと、4月号の「重源上人からの挑戦」もチェックしてみてください。



↑重源上人からの挑戦

では、今月のキーワードを入力して続きをお楽しみください。今月号からでも楽しめるので、QRコードを読み取って、「徳地をとく」を友達追加してください。

今月の場所は、この時期あれが飛び交うあの場所です。

【キーワード】
クシ



↑スマホでQRコードを読み取って、謎解きスタート！

*LINEアプリ及びアプリ内での友達追加が必要です



写真や情報をお寄せ下さい

地域の景色や行事など、あなたの知っている徳地の素敵など、**人・モノの写真や情報を徳地地域づくり協議会**まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくぢ」のほか「徳地地域づくり協議会 HP・FB」でご紹介させていただきます。



←二次元バーコードを読み取ると、アドレス入力なしでメールできます



はっコラム



とくぢ通い 雑感

今回は、先月号で名前を出したのに全く触れていなかった「二の宮の大杉」(山口市指定天然記念物)についてお話ししたいと思います。出雲神社の境内にあるご神木です。

繰り返しになりますが、山口市役所に勤務していた4年前、文化財保護課に配属されたことが、私が徳地に興味を持つきっかけになりました。二の宮の大杉とも、配属されたばかりの頃、まずは市内の文化財(「天然記念物」も文化財の種類の一つです)を知るために各所を訪れたときに出会いました。

始めに神社へ参拝し、大杉があるという左手へ向かいます。けれども森があるばかりで、肝心の杉の姿が見えません。訝(いぶか)りながら進んでいくと、やがてしめ縄を堂々と巻いた巨大な幹が視界に入り、森だと思いついでいた緑の塊こそが、「二の宮の大杉」ただ一本から出ている枝葉だったことに気付かされました。

さらに石段を数段上り、幹のすぐそばに身を置くと、何百年もの間ここに生き続け、この地を見つめてきた植物の神秘に触れられる気がして、思わず深呼吸。そして、大きな幹を下から上へと仰ぎ見れば、山に面した背部はほとんど枝をつけずに一直線に天へと向かい、そのぶん前部は太陽の光を求めて太く遠くへと枝を広げていることが分かります。何という生命力！

徳地の森では古くから良材となる大木が育ちやすいことは、それまでも何となく見聞きしていたのですが、山の奥深くまで入らなくても幹線道路のすぐそばでこんな木と会うことができるのは、私にとって大きな驚きでした。

その後、徳地には他にも日常生活と近い場所にいくつもの巨木が守られていることを知り、昨年、地域の方々と共に実施した日帰りツアー「徳地の巨木巡礼」へとつながっていききました。



(執筆：丸本華代)